

令和6年度

 愛知県西尾市

学校安全総合支援事業 活動報告

守ろう、  
支えよう、  
大好きな故郷

ふるさと



ほうさいくん

西尾市 危機管理局 危機管理課  
Crisis Management Section

# 西尾市の概要

名古屋市の南東約35キロメートル

人口：169,657人  
(R6.12.1現在)



まーちゃ

※平成23年4月1日に一色町・吉良町・幡豆町と合併しました。

# 西尾市の概要



抹茶



カーネーション



うなぎ



えびせんべい



大提灯



祇園祭



トンボロ平潟



あじさいロード



ワイキキビーチ

佐久島



# 南海トラフ地震で想定される 西尾市の被害

**最大震度** : **震度7**

**最大津波高** : **4.4m** 【佐久島 : **5.1m**】

**津波到達時間** : **53分** 【佐久島 : 41分】

(津波高30 cm)

**浸水面積** : **5,155ha** **(市域の約3分の1)**

(浸水深1 cm以上,海岸堤防の高さが75%沈下した場合)

# 過去地震最大モデル被害想定 (他市との比較)

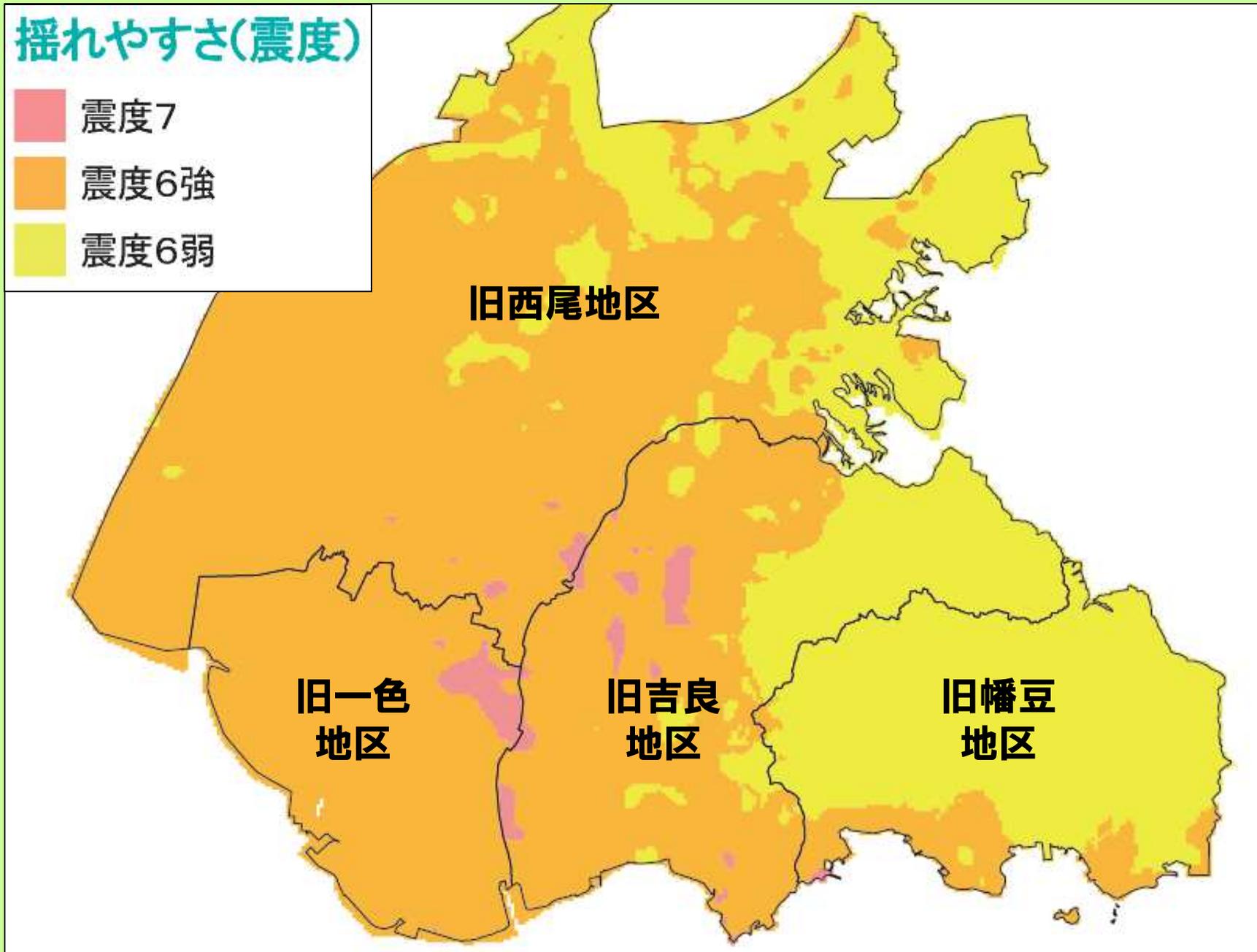
	最大震度	最大津波高 (m)	津波 到達時間 (分)	浸水面積 ( $\text{km}^2$ )	死者数 (人)	全壊 建物数 (棟)
<b>西尾市</b>	<b>7</b>	<b>4.4</b> 佐久島 <b>5.1</b>	<b>53</b> 佐久島 <b>41</b>	<b>5,155</b> ②	<b>1,800</b> ①	<b>15,000</b> ②
名古屋市	6強	3.3	103	<b>5,740</b>	1,500	<b>20,000</b>
豊橋市	6強	7.6	<b>9</b>	2,115	400	9,000
田原市	<b>7</b>	<b>10.2</b>	12	1,931	300	5,200
知多市	6強	3.1	76	47	30	700
碧南市	<b>7</b>	3.5	57	1,071	300	5,200
蒲郡市	<b>7</b>	3.6	59	131	90	1,500

平成26年5月30日愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査「過去地震最大モデル」

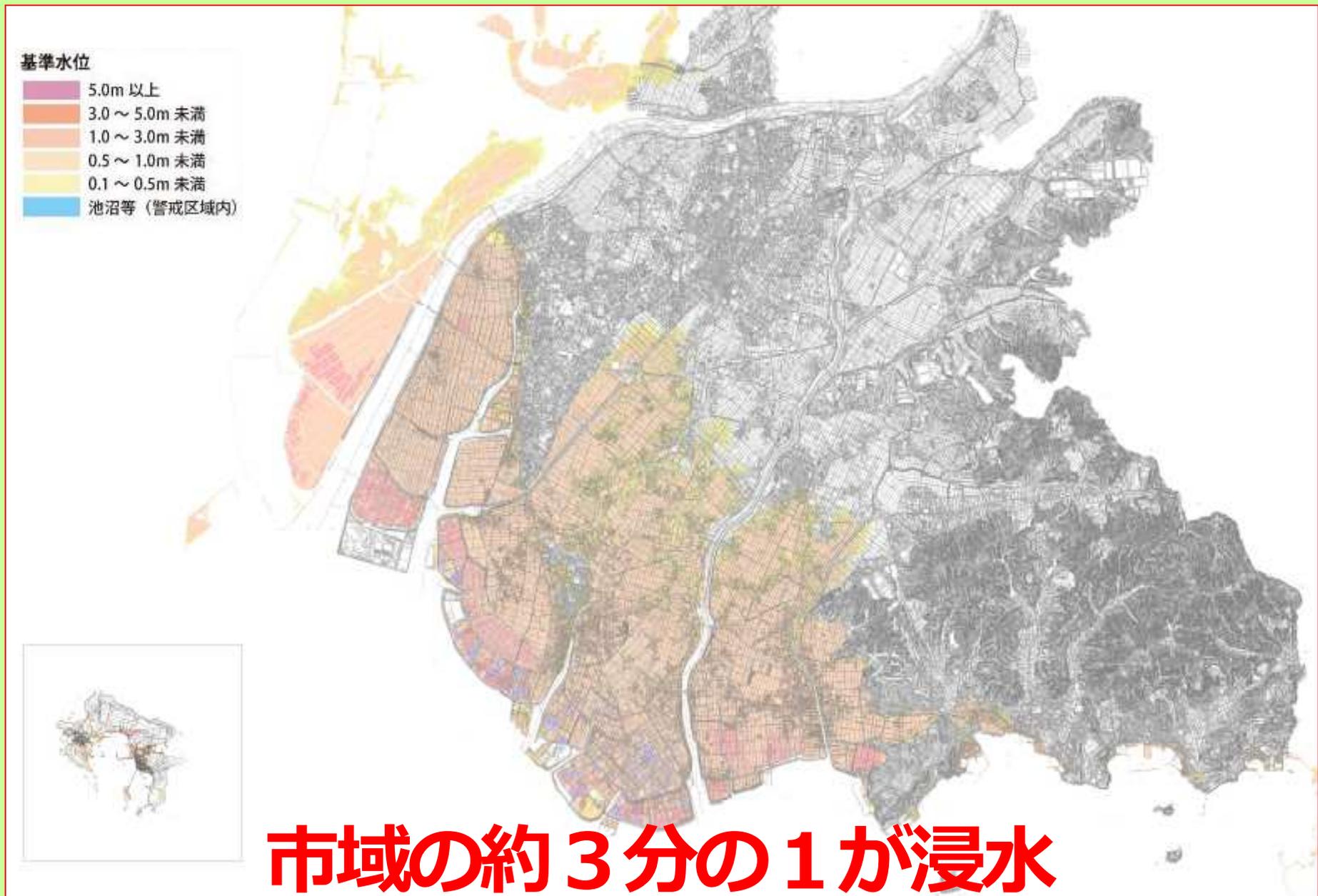
# 南海トラフ地震で想定される西尾市の被害

揺れやすさ(震度)

- 震度7
- 震度6強
- 震度6弱



# 津波浸水想定区域西尾市全体図



# 事業の名称について



近年、全国各地で災害が発生…



守ろう、  
支えよう、  
ふるさと  
大好きな故郷

## 事業の目標

- ① 児童生徒が、地震津波や風水害等に対する正しい知識を身につけるとともに、災害発生時には、  
防災リーダーとして  
積極的に活動できること  
を目指す。

## 事業の目標

- ②児童生徒が、取り組んだ成果等を外部に発信していくことで
- 学校間・地域間の
- 防災に対する意識の差
- の解消
- を目指す。

## 事業の目標

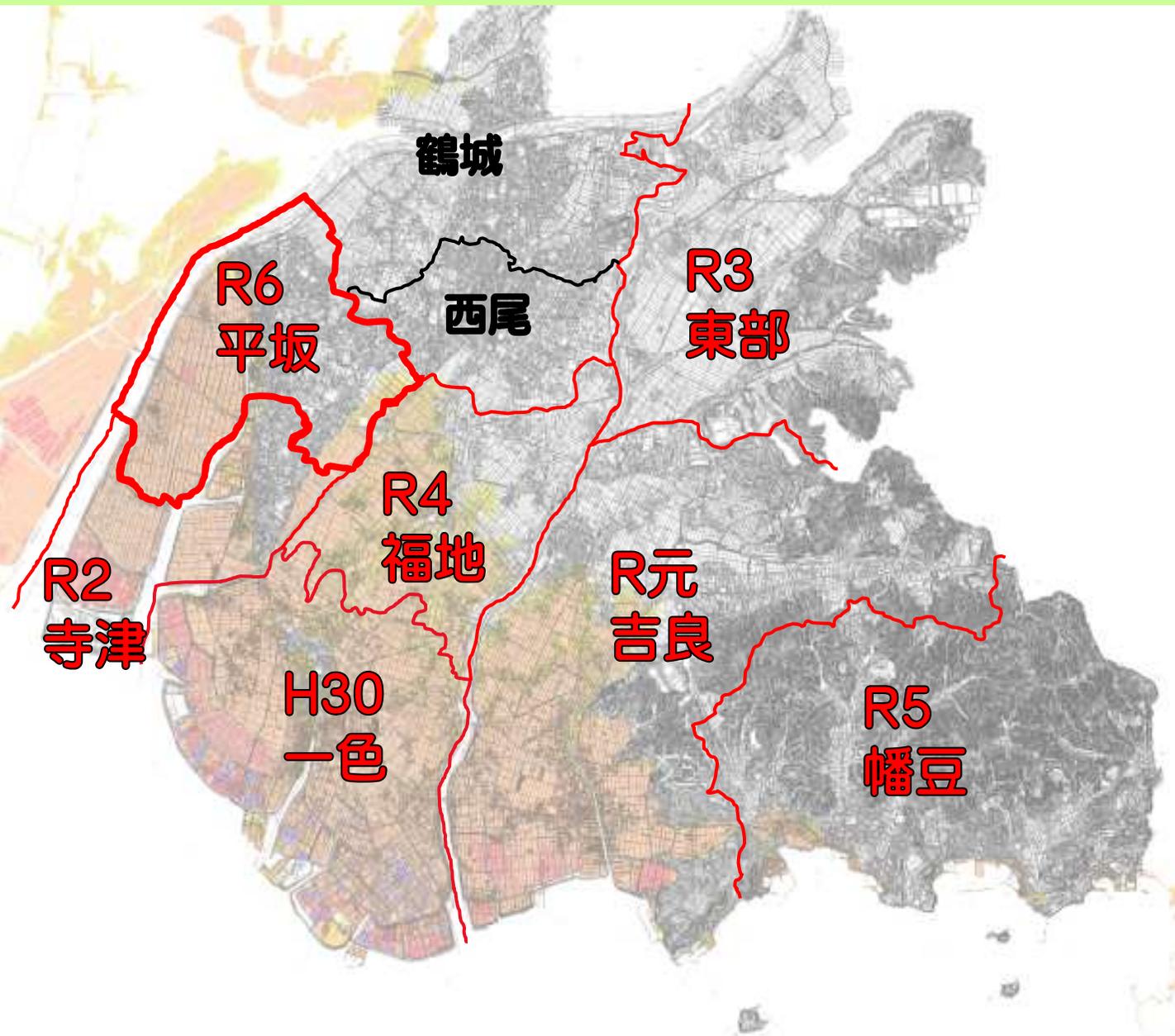
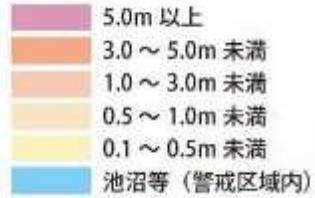
③中核教員（防災担当教員）を通して、拠点校を中心としたモデル地域内での取組を共有するとともに、

中核教員の資質能力の向上

を目指す。

# モデル地域の設定

## 基準水位



佐久島



西尾市

# 津波ハザードマップ

① 中畑・平坂・矢田・寺津地区

発行：西尾市 危機管理情報提供部 TEL：0563-65-2137 発行年月：令和3年3月

## 基準水位

5.0m以上

3.0m～  
5.0m未満

1.0m～  
3.0m未満

0.5m～  
1.0m未満

0.5m未満

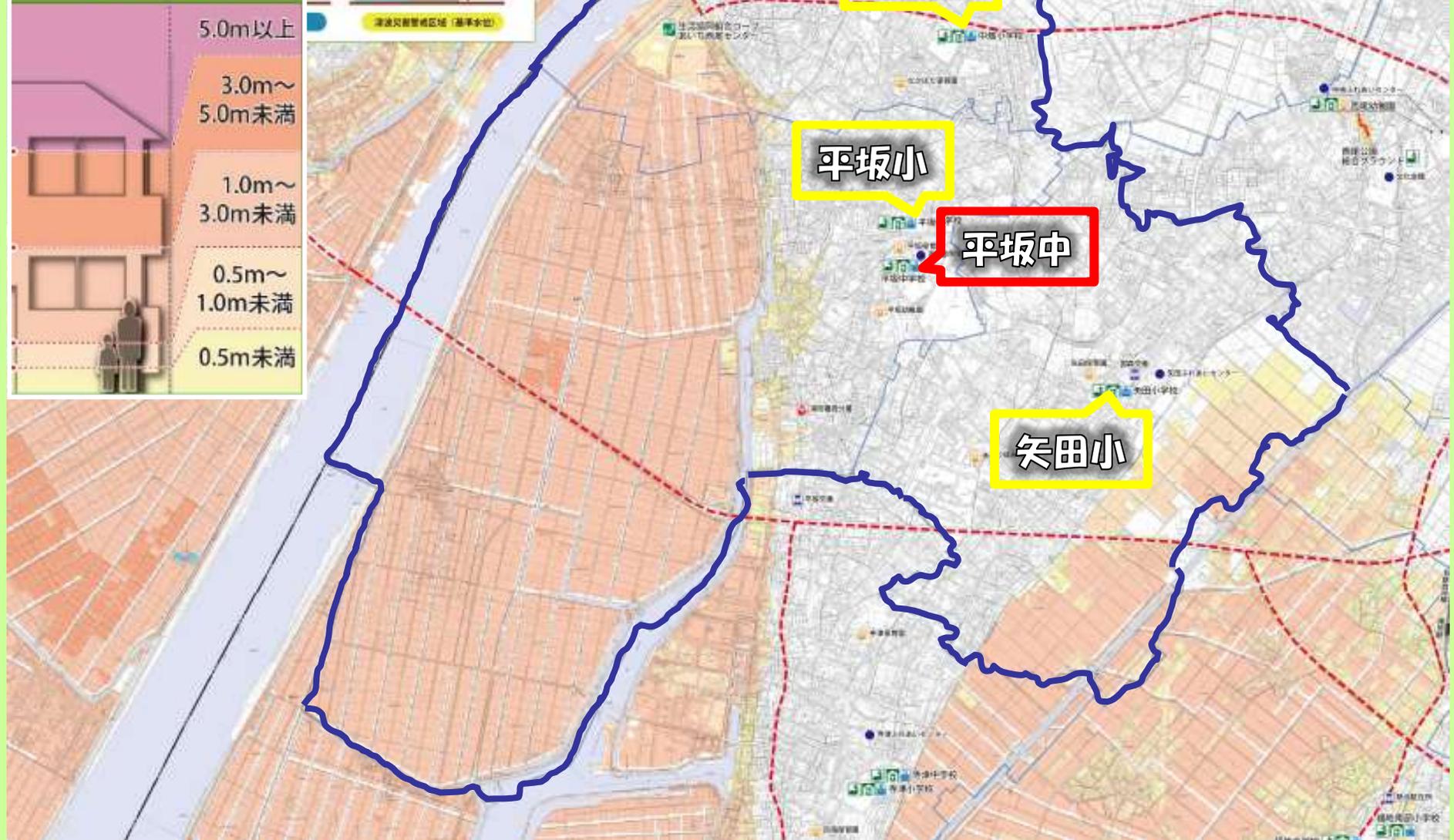
# モデル地域の被害想定

中畑小

平坂小

平坂中

矢田小



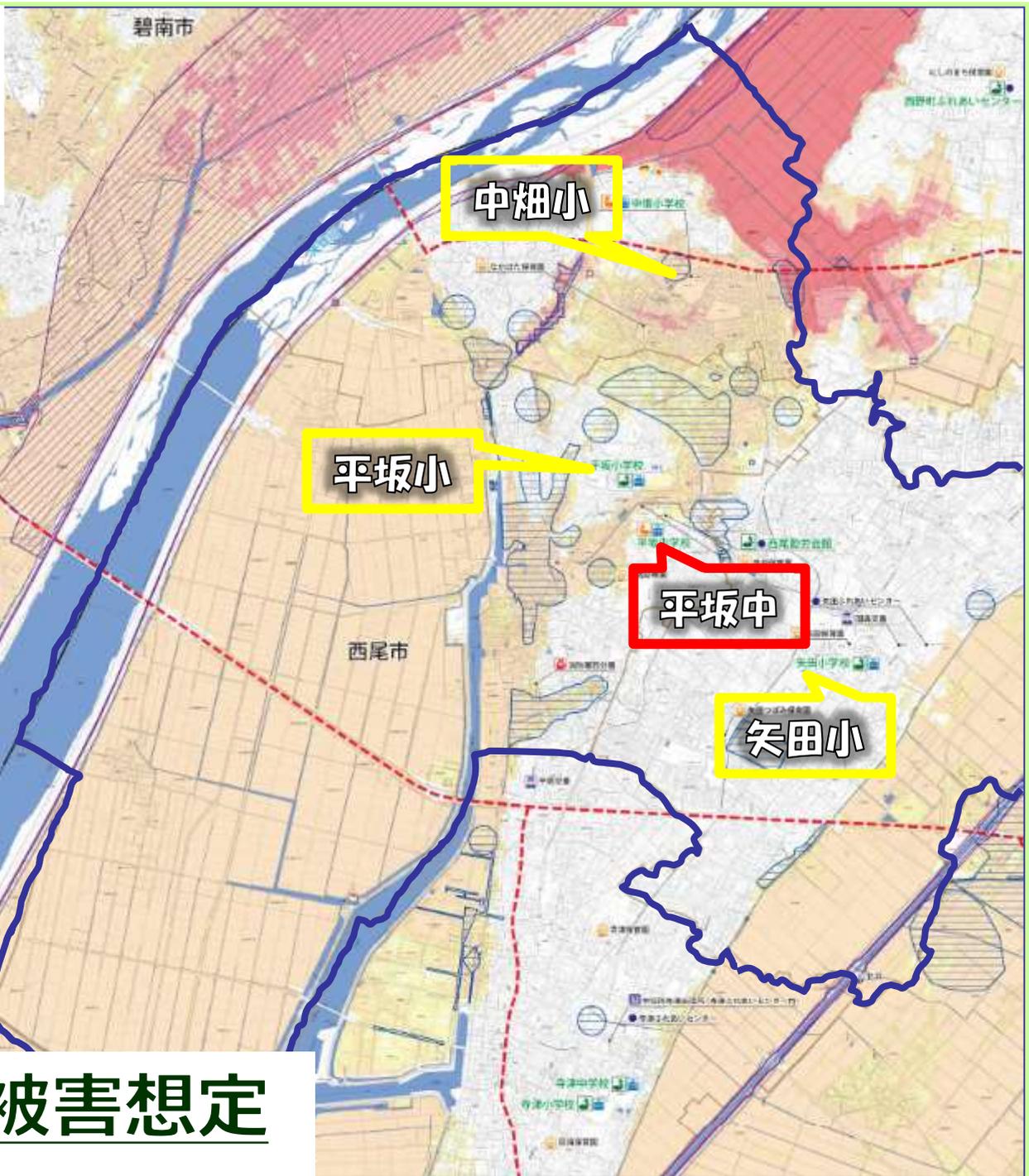
**西尾市**  
**洪水ハザードマップ**  
**②中畑・平坂・寺津地区**

発行：西尾市 建設部河川港湾課 TEL：0563-65-2151 危機管理課危機管理課 TEL：0563-65-2137

令和2年4月10日公表 片・高浜川流域の24時間総雨量770mm	令和3年3月26日公表 陸南条件-乙川流域の48時間総雨量785mm
八幡川水災九種川流域 (八種川)	高浜川水災高浜川流域 (高浜川)
令和3年12月24日公表 片・八幡川流域の24時間総雨量816mm	令和3年12月24日公表 陸南条件-高浜川流域の24時間総雨量816mm

**凡例**

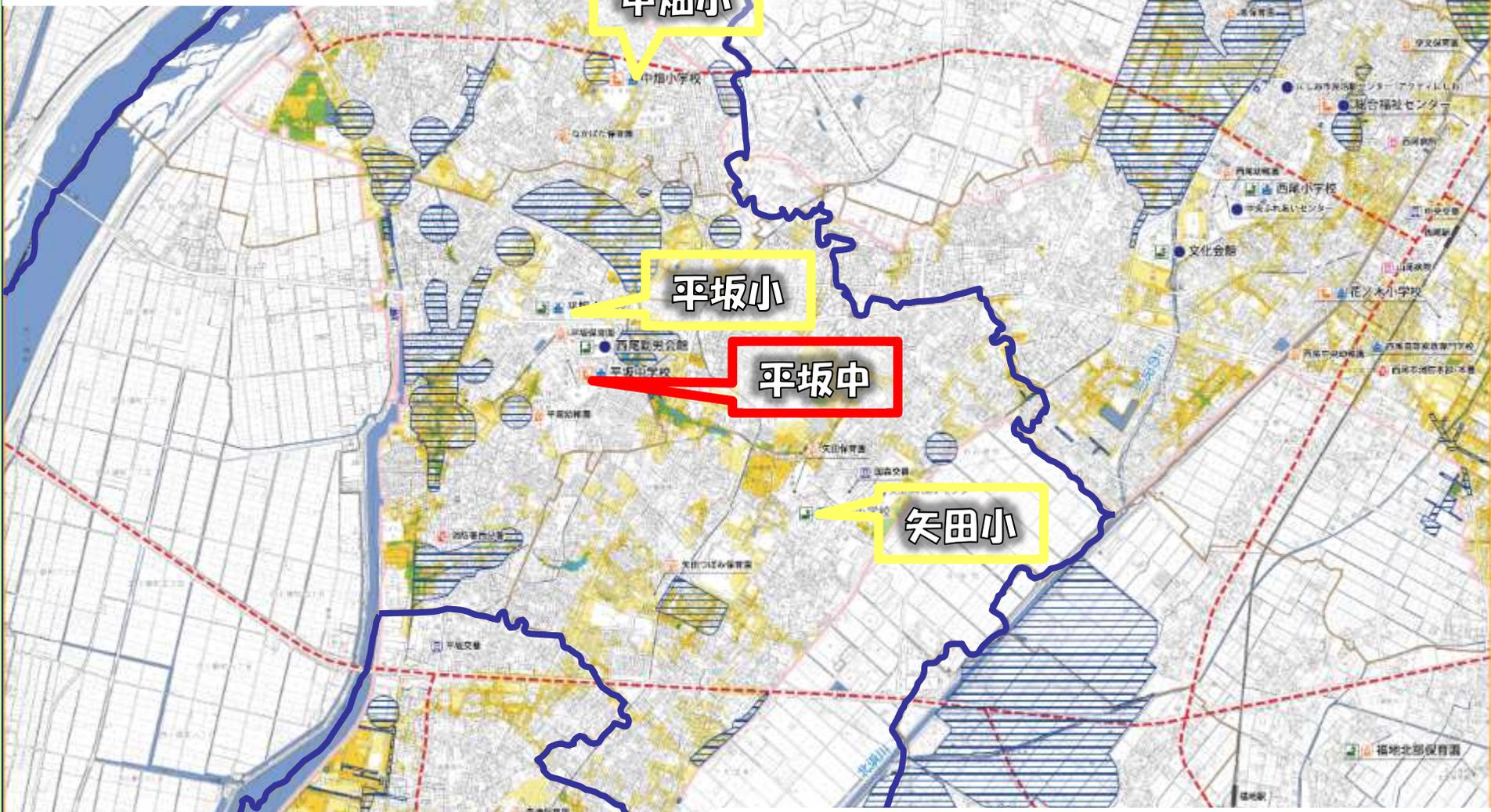
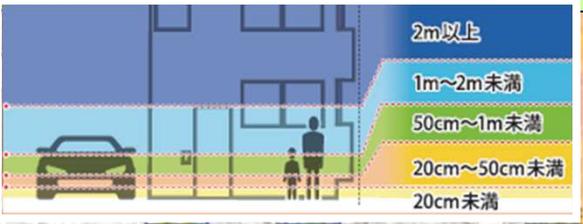
避難場所(指定避難所)	浸水実績
特に使用可能	本マップに掲載した実績のあるエリア
特に制限を受ける	家屋倒壊等危険指定区域
家屋倒壊等危険指定区域	洪水が浸した家屋、水が流れた土壌が崩壊する可能性がある
河川	想定される最大浸水深
河川	10.0m以上
河川	5.0～10.0m未満
河川	3.0～5.0m未満
河川	1.0～3.0m未満
河川	0.5～1.0m未満
河川	0.3～0.5m未満
河川	0.3m未満
境界	10.0m未満
境界	5.0m～10.0m未満
境界	3.0m～5.0m未満
境界	1.0m～3.0m未満
境界	0.5m～1.0m未満
境界	0.3m～0.5m未満
境界	0.3m未満



**モデル地域の被害想定**

西尾市  
**内水ハザードマップ**  
 ②中畑・平坂・寺津・矢田地区

発行：西尾市上下水道下水道整備課 TEL：0543-45-2192 地理情報技術センター TEL：0543-56-2111  
 発行年月：令和4年11月



**モデル地域の被害想定**

西尾市

# 高潮ハザードマップ

## ②中畑・平坂・矢田・寺津地区

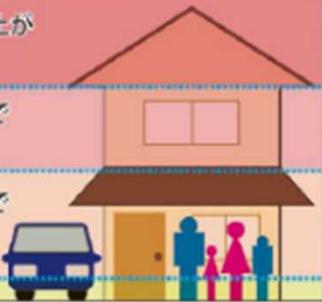
発行：西尾市 建設部河川港湾課 TEL：0563-65-2151 危機管理局危機管理課 TEL：0563-65-2137  
発行年月：令和5年3月

5.0～ 2階の屋根以上が  
10.0m 浸水する程度

3.0～ 2階の軒下まで  
5.0m 浸水する程度

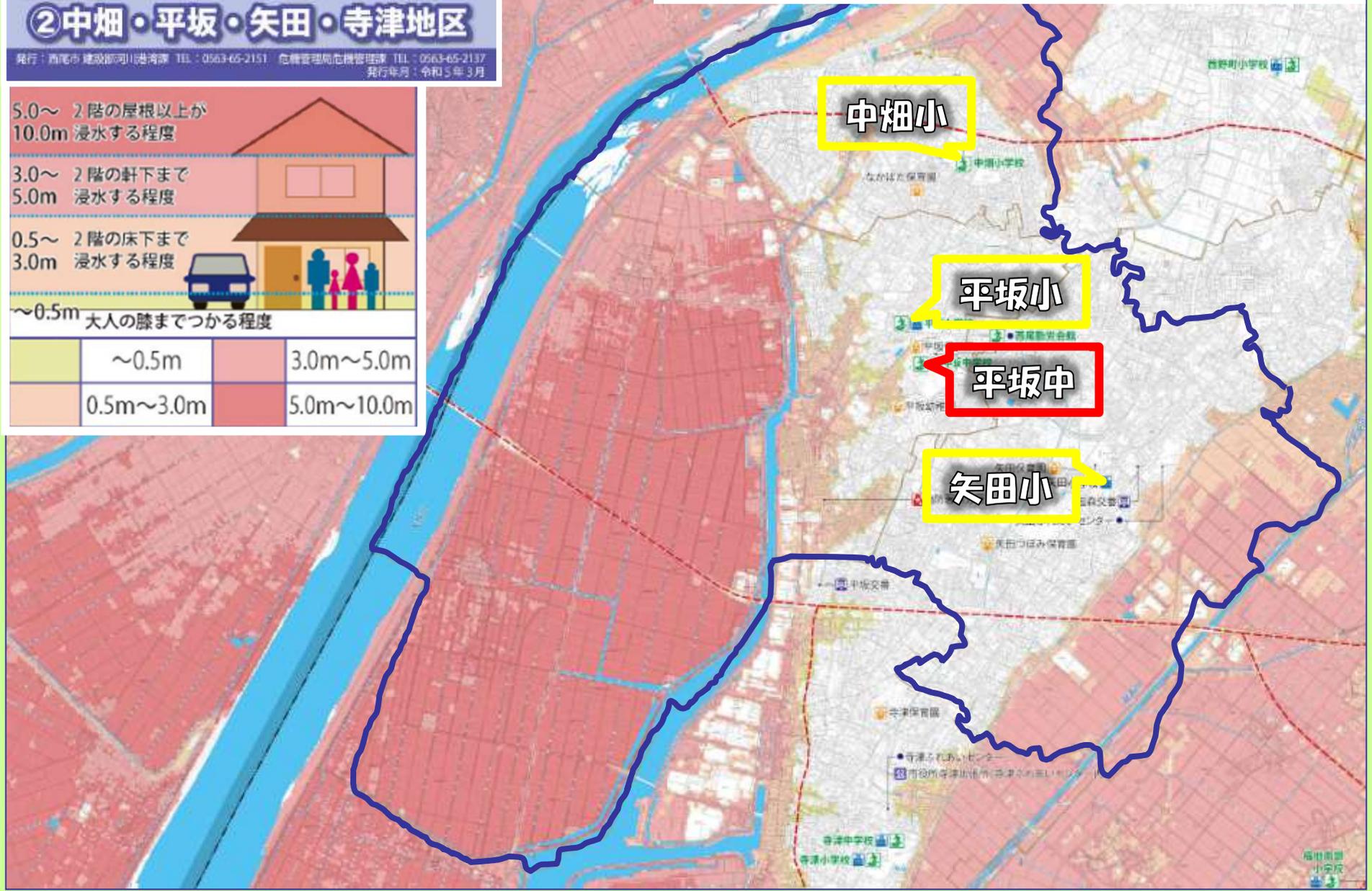
0.5～ 2階の床下まで  
3.0m 浸水する程度

～0.5m 大人の膝までつかる程度



～0.5m	3.0m～5.0m
0.5m～3.0m	5.0m～10.0m

# モデル地域の被害想定



# モデル地域の設定

津波浸水想定区域を保有し、風水害（内水氾濫、外水氾濫）において甚大な被害が想定され、地震津波における指定避難所になっている学校を含む**平坂地区**

（H30年度 **一色地区**、R元年度 **吉良地区**、R2年度 **寺津地区**、  
R3年度 **東部地区**、R4年度 **福地地区**、R5年度 **幡豆地区**）

防災リーダー育成の視点から

拠点校 **西尾市立平坂中学校**



中核教員（防災担当教員）を通して  
平坂地区全域へ取組を広める

# 拠点校



1年生 9クラス (311名)

2年生 8クラス (312名)

3年生 7クラス (284名)

合計 907名

# モデル地域校



中畑小  
4年生2クラス51名



矢田小  
4年生5クラス170名



平坂小  
4年生3クラス110名

# 実践委員会の設置



会場：西尾市役所 防災会議室

自主防災会連絡協議会会長、警察、消防等を含む  
16名からなる実践委員会（年3回）

名古屋市港防災センター

近藤ひろ子 防災教育アドバイザー



【モデル地域での取組①】

## 危機管理課職員による防災講話

西尾市の

- ・ 地理的状況
- ・ 被害想定
- ・ 災害に対する備え 等



令和6年5月22日 中畑小4年生  
29日 平坂中1年生  
30日 平坂小4年生  
6月28日 矢田小4年生

【モデル地域での取組①】

## 危機管理課職員による防災講話

《児童の感想より》

・ 西尾市にどんな被害があるか  
分かって**恐ろしかった**

・ 津波の時の**避難場  
所をきちんと覚え  
ておきたい**

平坂小4年生



【モデル地域での取組①】

## 危機管理課職員による防災講話

《児童の感想より》

- ・ **家具の配置**を変えたり  
**固定**したりしたい

- ・ **自助、共助、公助の**  
**大切さ**が分かった



矢田小4年生

- ・ もっと**防災のことを広めて、**  
**みんな**で協力していきたい

【モデル地域での取組①】

## 危機管理課職員による防災講話

《平坂中の生徒の感想より》

- ・ **自分の命は自分で守って、  
他の人たちのために役立てる  
ようになりたい**



平坂中 1年生

**自分事として  
防災学習を進めていく**

【モデル地域での取組②】

## 近藤ひろ子防災教育アドバイザーによる防災講話

- ★過去の大地震の紙芝居
  - ★防災における大切な言葉
  - ★「いつも」「おかに」ソング
- 等



6月10日 中畑小4年生

25日 平坂小4年生

7月3日 平坂中1年生

9月20日 矢田小4年生・6年生・保護者

【モデル地域での取組②】

## 近藤ひろ子防災教育アドバイザーによる防災講話

《児童の感想より》

- ・ **命を守る、みんなと一緒に  
生きのびていく**ということが  
**特に大切**

平坂小4年生



6月10日 中畑小4年生

25日 平坂小4年生

7月3日 平坂中1年生

9月20日 矢田小4年生・6年生・保護者

【モデル地域での取組②】

## 近藤ひろ子防災教育アドバイザーによる防災講話

《児童の感想より》

- ・ **日ごろからの備え、近所の人とのあいさつや声かけ**などをして、**災害への対策**をしたい



矢田小

- ・ **たくさんの人に防災を伝えたい**

【モデル地域での取組②】

## 近藤ひろ子防災教育アドバイザーによる防災講話

《平坂中の生徒の感想より》

- ・ いつまでも助けてもらう存在ではなく、**だれかを助けられる存在になりたい**



平坂中 1年生

6月10日 中畑小 4年生

25日 平坂小 4年生

7月 3日 平坂中 1年生

9月20日 矢田小 4年生・6年生・保護者

【モデル地域での取組②】

## 近藤ひろ子防災教育アドバイザーによる防災講話

◀平坂中の生徒の感想より▶

- ・ **中学生だからこそ、自分やみんなの命を守るためにできることがたくさんある**

小中学生が  
地域の大きな  
力になる

防災リーダー  
への意識の  
芽生え

【モデル地域での取組③】

# 避難所運営ゲーム（HUG）

西三河  
県民事務所職員

## 避難所運営をカードで模擬体験

- ・ 避難者カードの配置
- ・ それぞれの状況を考慮
- ・ 様々な出来事への対応

82	世帯番号【21】
東池452	【東池1班】
とっぴ 突風さん	
【男51歳】全壊	
父、世帯主、妻	
世帯主の父は心臓病あり。妻はうつ病。	



9月18日 平坂中1年生  
実践委員  
矢田小校区町内会長  
消防団員

【モデル地域での取組③】

## 避難所運営ゲーム（HUG）

西三河  
県民事務所職員

《平坂中の生徒の感想より》

避難所運営は大変で難しい

避難所の実態が想像できた

年齢や病気だけでなく  
性別や地区など、自分  
にはなかった考えを発見



【モデル地域での取組③】

## 避難所運営ゲーム（HUG）

西三河  
県民事務所職員

《平坂中の生徒の感想より》

**避難者一人一人を尊重して**  
**物事を迅速に決めることが大切**

**「自分さえよければいい」と**  
**思っているのはダメ**



**助ける側・受け入れる側**  
**としての気持ちや考え**

【モデル地域での取組④】

# 防災講演会

レスキューストックヤード代表理事  
栗田 暢之 氏

- ◇被災者の声
- ◇中学生ボランティアの活動
- ◇励まされる側から励ます側に

演題 『かけがえのない「いのち」を守るために  
～中学生だからこそできる防災活動について～』



9月30日 平坂中1年生  
実践委員  
矢田小校区町内会長

【モデル地域での取組④】

## 防災講演会

レスキューストックヤード代表理事  
栗田 暢之 氏

《平坂中の生徒の感想より》

- ・ 「自分の命」を守るための行動を、**実行、発信**したい
- ・ **ボランティア活動**や、**元気の出る声かけ**など**積極的に**行動していきたい

**自分たちにできること**

【モデル地域での取組⑤】

# 災害クッキング講座

名古屋文化短期大学  
山田実加 教授

- ★「防災を楽しむこと」
- ★学びを「知ってる⇒出来るへ」
- ★パック・クッキング法 等



10月21日 平坂中 1年生  
実践委員

防災レシピ集  
QRコード →



和風の蒸しケーキ  
サバの味噌煮とワカメ和え  
誰でもできる簡単ポテサラ  
アルファ米（ワカメご飯）  
アルファ米（ドライカレー）

【モデル地域での取組⑤】

## 災害クッキング講座

名古屋文化短期大学  
山田実加 教授

《平坂中の生徒の感想より》

・ 温かいご飯を作ること  
で  
**前向きな気持ち**になりそう

・ 避難所や避難方法だけ  
でなく **非常食や災害食**  
**の大切さ**を知った



【モデル地域での取組⑤】

## 災害クッキング講座

名古屋文化短期大学  
山田実加 教授

《平坂中の生徒の感想より》

- **助け合いと自分が  
できることを増やす  
ことが大事**



- **早めに食べて買い足して、  
ローリングストックしたい**

**防災を日常に取り入れる**

【モデル地域での取組⑥】

# 防災講座「救出救護技術」

西尾市消防本部  
校区消防団

- ◇負傷者の応急手当て
- ◇負傷者の搬送
- ◇巻き結び・本結び 等



三角巾包帯法講座



11月6日 平坂中1年生  
実践委員

【モデル地域での取組⑥】

## 防災講座「避難所簡易グッズ作り」

近藤ひろ子  
防災教育アドバイザー

避難所などでより快適に

- ・ 広告と新聞紙で簡易スリッパ
- ・ 簡易テントと簡易ベッドの設営

簡易テント設営



新聞紙スリッパ作り



11月6日 平坂中1年生  
実践委員

【モデル地域での取組⑥】

防災講座「救出救護技術」「避難所簡易グッズ作り」

《平坂中の生徒の感想より》

- ・ 身の周りのものでできることがたくさんある
- ・ 今日習ったこと以外でも、工夫して役立てられそう
- ・ できることを増やして、たくさんの人に伝えていきたい  
人を助ける技術やアイデア

【モデル地域での取組⑦】

## モデル地域 小中合同防災学習

同じ地域で生活する者同士で協力

★救出救護技術（ロープ結索）

★避難所簡易グッズ作り

（スリッパ・テント設営）



ロープ結索



スリッパ作り

11月13日 平坂中1年生  
矢田小4年生

11月20日 平坂中1年生  
中畑小4年生  
平坂小4年生

【モデル地域での取組⑦】

## モデル地域 小中合同防災学習

《児童の感想より》

- ・ 私も負けないように  
防災についてもっと知りたい
- ・ 次は教える側になりたい
- ・ 教えてもらった  
ことをして、  
人を助けたい

助けられる人  
から助ける人  
への意識

間易アクト設置

【モデル地域での取組⑦】

## モデル地域 小中合同防災学習

《平坂中の生徒の感想より》

- ・ 小学生に**教えたことで、**  
**さらに理解が深まった**
- ・ **知識を広めていくことが大事**
- ・ **「継承」とは**  
**こういうことなのか**  
**と、うれしくなった**



【モデル地域での取組⑦】

## モデル地域 小中合同防災学習

《平坂中の生徒の感想より》

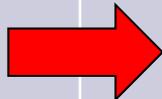
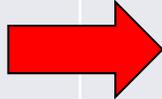
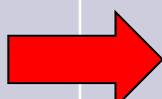
- 町全体を防災の知識であふれさせる取組の第一歩を自分たちが踏み出せた

学んだことを発信し  
協力することで  
防災力が強化される



# 事前・事後アンケートより

Q あなたの家では、災害時のために、備蓄品（物資や食料）を準備してありますか？

	事業前	事業後
あ る	31% 	49%
な い	11% 	9%
わからない	58% 	42%

# 事前・事後アンケートより

Q あなたは家族と、地震などの自然災害について話し合うことがありますか？

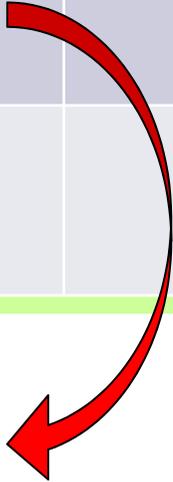
	事業前		事業後
よくある	4%	➡	8%
たまにある	28%	➡	34%
ほとんどない	68%	➡	58%

# 事前・事後アンケートより

Q 災害時、あなたができることはありますか？

	事業前	事業後
あ る	56%	
な い	44%	

逃げる  
隠れる  
シェイクアウトする



# 事前・事後アンケートより

Q 災害時、あなたができることはありますか？

	事業前	事業後
あ る	56% →	71%
な い	44% →	29%

スリッパを作る    テントの組立て  
食事を作る    避難所運営の手伝い  
ロープ結索    けが人の手当て

# 事前・事後アンケートより

Q 災害時、あなたができることはありますか？

	事業前	事業後
あ る	56% →	71%
な い	44% →	29%

人を助ける 呼びかけ 励ます  
翻訳する 高齢者や妊婦の補助  
小さい子のお世話 など

# 事後アンケートより

◀防災学習を振り返って▶

- 中学生でもできること、  
中学生だからこそできること  
がたくさんある

- 防災が身近なものに感じられた

- 防災の大切さをもっと地域に  
広めたい

# 事後アンケートより

◀防災学習を振り返って▶

- ・これからは「**助ける側**」として、**地域の人たちを支えたい**
- ・災害が本当に起きてしまったら**自分たちが引っ張っていけるようにしたい**

**「自分がやらなければ」という  
防災リーダーとしての意識に**

# 本事業の成果

様々な活動を通して「守られる側から守る側へ」という意識を高め、児童生徒が災害時においても「自分のできることをやっていきたい」という思いをもつことができた。



## 防災リーダーとして積極的に活動できる姿

児童生徒が地域の方と一緒に活動をしたり、児童生徒の学びを外部に発信したりすることで、モデル地域全体の防災意識を向上させることができた。

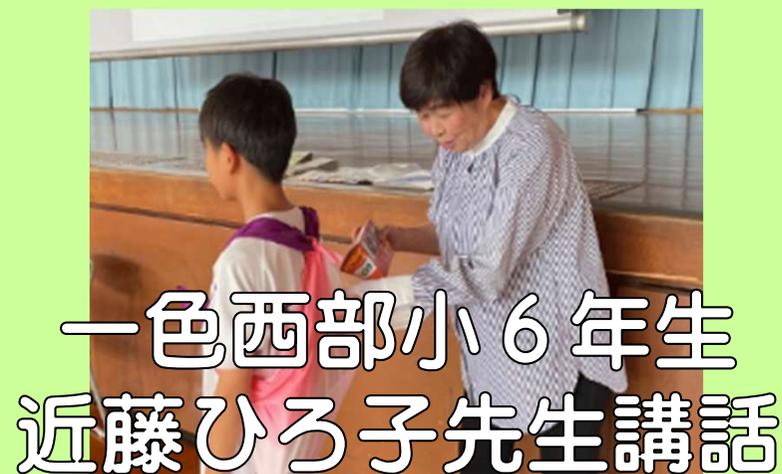
## 防災意識の向上と、学校・地域の連携強化

本事業が終了した後もモデル地域内の学校が防災教育を継続実践することができた。

## 本事業終了後も継続して実施

# R6 市内の小中学校における実践例

## 一色地区 (H30モデル地区)



## 吉良地区 (R1モデル地区)



# 西尾市内の小中学校における防災学習

## 寺津地区 (R2モデル地区)



## 東部地区 (R3モデル地区)



# 西尾市内の小中学校における防災学習

## 福地地区 (R4モデル地区)



## 幡豆地区 (R5モデル地区)



# 西尾市内の小中学校における防災学習

## 平坂地区 (R6モデル地区)



市内全域で  
「防災教育」 「防災活動」  
を推進しています



# 今後の課題



## 学校・地域・行政の顔の見える関係づくり

共に活動する場や、災害時に備えた意見交換の場など、連携する場をいかに確保していくか。

## 防災教育の継続・発展

学校・地域の実情や、子どもたちの実態をとらえた上でより効果的な活動を検討していく必要がある。また、保護者・地域をこれまで以上に巻き込めるような活動を取り入れていく必要がある。さらに、津波浸水想定区域外の地域において、避難者を受け入れる体制づくりを進めていく必要がある。

## 教職員の研修

学校の立地状況や地域の実態により、災害発生時の対応は異なり、児童生徒への指導は学校独自の内容が求められる。そのため、教職員が災害に対する知識を得て、素早く適切に対応できる力を身に付けるとともに、児童生徒に効果的な指導を行うためのスキル向上の必要がある。



**今後も、学校安全に係る取組を  
さらに推進していきます！**



ご清聴ありがとうございました

「西尾の抹茶」の耳



ほうさいくん



あんぜん



ちゅうい



きけん



令和6年度



学校安全総合支援事業 活動報告

守ろう、  
支えよう、  
大好きな故郷

ふるさと

西尾市 危機管理局 危機管理課  
Crisis Management Section



ほうさいくん

